

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の設置

注1

九州工業大学大学院 工学府

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州工業大学  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務課企画総務係

職名・氏名 カカリチョウ ヤマデタカシ  
係長 山出崇

電話番号 093-884-3043

(夜間) 093-884-3043

F A X 093-884-3015

e-mail sou-soumu@jimu.kyutech.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ P 1
2	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ P 2 2
3	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ P 5 5
4	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ P 5 6
5	その他全般的事項	・ ・ ・ ・ P 6 6

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

## (2) 大学名

九州工業大学

## (3) 大学の位置

〒804-8550  
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 機械知能工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2年	78人	156人	基礎となる学部名等  工学部 機械知能工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(若干名) 78人	(若干名) 78人	( )人	1.11倍	
志願者数	(0) 100	(0) 95	( )		
受験者数	(0) 98	(0) 95	( )		
合格者数	(0) 91	(0) 90	( )		
B 入学者数	(0) 88	(0) 87	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.12	(-) 1.11	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[ 1 ] 87	[ 4 ] 88	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 1 ] 86	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 1 ] 87	[ 5 ] 174	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 1	計 [ 1 ] 88	[ 0 ] % 1.1 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 88人	
	(主な退学理由) 公務員試験受験1人		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 5 ] 175	[ 0 ] % 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 88人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 87人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 機械知能工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等  工学部 機械知能工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
区分					
A 入学定員	人 (若干名) 4	人 (若干名) 4	( ) 人	1.37	平成20年度は、平成20年10月入学5名含む。
志願者数	(4) 9	(0) 2	( )		
受験者数	(4) 9	(0) 2	( )		
合格者数	(4) 9	(0) 2	( )		
B 入学者数	(4) 9	(0) 2	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 2.25	(-) 0.5	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年				
1年次	[ 1 ] 4	[ 2 ] 7	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 1 ] 4	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 1 ] 4	[ 3 ] 11	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 9	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 9人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 3 ] 11	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 9人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 2人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 建設社会工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2年	39人	78人	基礎となる学部名等  工学部 建設社会工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(若干名) 39人	(若干名) 39人	( )人	0.94倍	
志願者数	(0) 46	(0) 52	( )		
受験者数	(0) 45	(0) 50	( )		
合格者数	(0) 37	(0) 43	( )		
B 入学者数	(0) 34	(0) 40	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.87	(-) 1.02	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[ 1 ] 34	[ 1 ] 40	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 1 ] 31	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 1 ] 34	[ 2 ] 71	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。



(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 3	計 [ 1 ] 34	[ 0 ] 8.8 %
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 34人	
	(主な退学理由) 就職3名		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 2 ] 74	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 34人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 40人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 建設社会工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)	年  3	人  2	人  6	基礎となる学部名等  工学部 建設社会工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	人 (若干名) 2	人 (若干名) 2	( ) 人	1	平成20年度は、平成20年10月入学1名含む。
志願者数	(2) 3	(1) 1	( )		
受験者数	(2) 3	(1) 1	( )		
合格者数	(2) 3	(1) 1	( )		
B 入学者数	(2) 3	(1) 1	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.5	(-) 0.5	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ 0 ] 2	[ 0 ] 2	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 0 ] 2	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 0 ] 2	[ 0 ] 4	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 3	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 3人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 4	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 3人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 1人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 電気電子工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	年  2	人  59	人  118	基礎となる学部名等  工学部 電気電子工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(若干名) 59	(若干名) 59	( )	1.74	
志願者数	(0) 136	(1) 109	( )		
受験者数	(0) 134	(0) 106	( )		
合格者数	(0) 117	(0) 96	( )		
B 入学者数	(0) 116	(0) 90	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.96	(-) 1.52	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[ 5 ] 116	[ 5 ] 90	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 5 ] 116	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 5 ] 116	[ 10 ] 206	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 5 ] 116	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 116 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 10 ] 206	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 116 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 90 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 電気電子工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)	3年	4人	12人	基礎となる学部名等  工学部 電気電子工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
区分					
A 入学定員	人 (若干名) 4	人 (若干名) 4	( )人	0.5倍	
志願者数	(1) 3	(0) 2	( )		
受験者数	(1) 3	(0) 2	( )		
合格者数	(1) 3	(0) 2	( )		
B 入学者数	(1) 3	(0) 1	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.75	(-) 0.25	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年				
1年次	[ 1 ] 3	[ 0 ] 1	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 1 ] 3	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 1 ] 3	[ 1 ] 4	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 3	[ 0 %] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 3人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 4	[ 0 %] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 3人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 1人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 物質工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2年	51人	102人	基礎となる学部名等  工学部 応用化学科 工学部 マテリアル工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 51人	(若干名) 51人	( )人	1.49倍	
志願者数	(0) 85	(0) 111	( )		
受験者数	(0) 80	(0) 107	( )		
合格者数	(0) 72	(0) 87	( )		
B 入学者数	(0) 71	(0) 82	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.39	(-) 1.6	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ 1 ] 71	[ 2 ] 82	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 1 ] 71	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 1 ] 71	[ 3 ] 153	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。



(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 71	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 71 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 3 ] 153	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 71 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 82 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注) 1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 物質工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)	年  3	人  4	人  12	基礎となる学部名等  工学部 応用化学科 工学部 マテリアル工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	人 (若干名) 4	人 (若干名) 4	( ) 人	1	平成20年度は、平成20年10月入学1名含む。
志願者数	(3) 7	(1) 1	( )		
受験者数	(3) 7	(1) 1	( )		
合格者数	(3) 7	(1) 1	( )		
B 入学者数	(3) 7	(1) 1	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.75	(-) 0.25	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ 0 ] 6	[ 0 ] 2	[ ]	平成20年度入学者のうち1名は、平成21年3月に早期修了。
2年次	[ ] -	[ 0 ] 5	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 0 ] 6	[ 0 ] 7	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 7	[ 0 ] % 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 7人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 8	[ 0 ] % 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 7人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 1人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 先端機能システム工学専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2年	34人	68人	基礎となる学部名等  工学部 総合システム工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(若干名) 34人	(若干名) 34人	( )人	1  1 他専攻志願者の第2希望合格者を含む  平成20年度は、平成20年10月入学1名含む。	
志願者数	(0) 31	(0) 42	( )		
受験者数	(0) 30	(0) 40	( )		
合格者数	(0) 38 1	(0) 36 1	( )		
B 入学者数	(0) 34	(0) 34	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 1	(-) 1	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ 0 ] 33	[ 1 ] 35	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 0 ] 33	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 0 ] 33	[ 1 ] 68	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 34	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 34 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 68	[ 0 ] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 34 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 34 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注) 1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は，平成19年度開設の博士後期課程の場合（平成21年度までの3年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）  
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学府 先端機能システム工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)	3年	3人	9人	基礎となる学部名等  工学部 総合システム工学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	人 (若干名) 3	人 (若干名) 3	( )人	0.66	
志願者数	(0) 0	(2) 4	( )		
受験者数	(0) 0	(2) 4	( )		
合格者数	(0) 0	(2) 4	( )		
B 入学者数	(0) 0	(2) 4	( )		
入学定員超過率 B / A	(-) 0	(-) 1.33	( )		

- (注) 1 ( )内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ 0 ] 0	[ 1 ] 4	[ ]	
2年次	[ ] -	[ 0 ] 0	[ ]	
3年次	[ ] -	[ ] -	[ ]	
計	[ 0 ] 0	[ 1 ] 4	[ ]	

(注) 1 [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 0	[ 0 %] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 4	[ 0 %] 0 %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 0人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 4人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
 ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学府 機械知能工学専攻 前期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	弾性力学特論	1前		2		1						
	伝熱学特論	1前		2		1						
	ｽﾊﾟｰｽｸﾞｲﾝﾏｽ特論	1後		2			1					
	生産加工学特論	2前		2		1						
	計測工学特論	1前		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	人間・環境工学特論	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	電機システム制御特論	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	知能システム学特論	1前		2			1					
	知的システム構成特論	1前		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	画像計測特論	2前 2		2		1						
専門科目	材料強度学特論	1後 2		2			1					課程見直しのため、平成20年度より配当年次を変更(21)
	適応材料学特論(奇)	1+2後		2			2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	応用構造解析特論	2前		2			1					
	計測工学特論	4前		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生産情報処理学特論	1後		2		1	1					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	史的文明論と社会論	2後		2								
	制御系構成特論	1後		2		1						
	電機システム制御特論	4前		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	IT及び-変換特論	2後		2			1					課程見直しのため、名称変更(21)
	流体IT及び-変換特論	1後		2		1						
	流動機器設計特論	2後		2			1					
	応用熱現象学特論	1後		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	粉体工学特論	4前		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	人間・環境工学特論(奇)	1前		2			4					
	知能工学特論(奇)	1前		2			4					
	知的システム構成特論	4前		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	宇宙環境技術特論	1前		2		2 4						課程見直しのため、平成20年度より教員変更(21)
	機能表面工学特論	1前		2			1					
	推進学	2前		2		1						
	航空宇宙の誘導制御学特論	1前		2		1						
	高速衝突工学特論	1後		2		1						
	ロボット制御特論	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	車両制御特論	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学インターナショナル	1後		2		4	4					
	制御工学インターナショナル	1後		2		4	4					
	制御工学インターナショナル	1後		2		4	4					
	技術英語	1~2		1		4	4					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1~2		2		4	4					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1~2		2		4	4					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1~2		2		4	4					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
計画数学特論	2前		2									
計算数学特論	1後		2									
解析学特論	2前		2									
量子力学特論	2前		2									
機械知能工学講究	1~2		2		13 44	11 42					異動のため、平成20年度より教員変更(21)	



	機械知能工学特別実験	1~2		2		13 44	11 42				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	機械知能工学講究B	1~2		1		13 44	11 42				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、教員変更(21)
	機械知能工学特別実験B	1~2		1		13 44	11 42				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、教員変更(21)
	機械工学外実習	1~2		最大2		8 7	7 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	機械工学外演習	1~2		最大2		8 7	7 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
社会人プログラム	適応材料学特論(奇)	1・2後		2			2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	実用金型新加工法特論(偶)	1・2後		2		1	2				
	制御系C A D入門(奇)	1・2		2			2				
	プレゼンテーション	1・2		2		13 44	11 42				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 44	11 42				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 44	11 42				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 44	11 42				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
実践科目	MOT特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	知的財産論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外国語科目	英語M	1・2前		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2後		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2前		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2後		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2前		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2後		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	50	0	50	0	63	6	69	
				[ 0 ]	[ 13 ]	[ 6 ]	[ 19 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	応用流体力学特論	2	1	一般	選択	教育課程を見直し、7科目を廃止し、26科目新設した。
2	制御システム特論	2	1	一般	選択	
3	応用制御工学特論	2	1	一般	選択	
4	連続体力学特論	2	1	専門	選択	
5	数値流動解析特論	2	1	専門	選択	
6	実用熱流体力学特論	2	1・2	専門	選択	
7	ディジタル機器工学特論	2	1	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.14}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： -1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 機械知能工学専攻 後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	弾性力学特論	1・2・3		2		1						
	伝熱学特論	1・2・3		2		1						
	ｽﾊﾟｰｽｸﾗｲﾐﾈﾙ特論	1・2・3		2			1					
	生産加工学特論	1・2・3		2		1						
	計測工学特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	人間・ロボット工学特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	電機システム制御特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	知能システム学特論	1・2・3		2			1					
	知的システム構成特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	画像計測特論	1・2・3		2		1						
専門科目	材料強度学特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より配当年次を変更(21)
	適応材料学特論(奇)	1・2・3		2			2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	応用構造解析特論	1・2・3		2			1					
	計測工学特論	1・2・3		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	生産情報処理学特論	1・2・3		2		1	1					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	史的文明論と社会論	1・2・3		2								
	制御系構成特論	1・2・3		2		1						
	電機システム制御特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	エネルギー変換特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、名称変更(21)
	流体エネルギー変換特論	1・2・3		2			1					
	流動機器設計特論	1・2・3		2			1					
	応用熱現象学特論	1・2・3		2			1					
	粉体工学特論	1・2・3		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	人間・ロボット工学特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	知能工学特論(奇)	1・2・3		2								
	知的システム構成特論	1・2・3		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	宇宙環境技術特論	1・2・3		2		2	4					課程見直しのため、平成20年度より教員変更(21)
	機能表面工学特論	1・2・3		2			1					
	推進学	1・2・3		2			1					
	航空宇宙の誘導制御学特論	1・2・3		2			1					
	高速衝突工学特論	1・2・3		2			1					
	ロボット制御特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	車両制御特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学インターシップ	1・2・3		2			4	4				
	制御工学インターシップ	1・2・3		2			4	4				
	制御工学インターシップ	1・2・3		2			4	4				
	技術英語	1・2・3		1			4	4				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1・2・3		2			4	4				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1・2・3		2			4	4				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	制御工学概論	1・2・3		2			4	4				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	計画数学特論	1・2・3		2								
	計算数学特論	1・2・3		2								
	解析学特論	1・2・3		2								
量子力学特論	1・2・3		2									
機械知能工学プロジェクト研究	1~3	2	2		13	11	44	42			課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)	
学外研修	1~3		1		13	11	44	42			課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、教員変更(21)	
特別演習	1~3		1		13	11	44	42			課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21) 異動のため、教員変更(21)	
社会人	適応材料学特論(奇)	1・2・3		2			2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	実用金型新加工法特論(偶)	1・2・3		2		1	2					
	制御系CAD入門(奇)	1・2・3		2			2					

ロ ケ タ ム	特別応用研究	1・2・3		2		13 44	11 42					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2・3		2		13 44	11 42					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
実 践 科 目	MOT特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	知的財産論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外 国 語 科 目	英語M	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 55	科目 0	科目 55	科目 1	科目 57	科目 8	科目 66	
				[ 1 ]	[ 2 ]	[ 8 ]	[ 11 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	応用流体力学特論	2	1・2・3	一般	選択	教育課程を見直し、7科目を廃止し、27科目新設した。
2	制御システム特論	2	1・2・3	一般	選択	
3	応用制御工学特論	2	1・2・3	一般	選択	
4	連続体力学特論	2	1・2・3	専門	選択	
5	数値流動解析特論	2	1・2・3	専門	選択	
6	実用熱流体力学特論	2	1・2・3	専門	選択	
7	ディジタル機器工学特論	2	1・2・3	専門	選択	
8	機械知能工学講究	2	1～3	専門	選択	前期課程対象科目に移行したため
9	機械知能工学特別実験	2	1～3	専門	選択	
10	機械工学学外実習	2	1・2・3	専門	選択	
11	機械工学学外演習	2	1・2・3	専門	選択	
12	プレゼンテーション	2	1・2・3	専門	選択	
13	特別応用研究	2	1・2・3	専門	選択	
14	特別応用研究	2	1・2・3	専門	選択	
15	特別応用研究	2	1・2・3	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.27
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

知方法」を記入してください。

- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 建設社会工学専攻 前期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	国土デザインと景観工学	1後		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	道路交通環境	1後		2		1						
	水工学特論	1前		2			1					
	地盤工学特論	1前		2		1	1					課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	地盤工学特論	1前		2		1						
	構造解析学特論	1前		2		1						
	建設材料施工学特論	1前		2			1					
建築学特論	1前		2		1	1					課程見直しのため、科目を追加(21)	
専門科目	社会システム特論	1前		2								
	バリアフリー-交通論	1後		2			1	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	環境保全と生態工学	1後		2			1					
	河川工学特論	1後		2		1						
	数値水理学	1前		2			1					
	地盤工学特論	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	地盤防災工学特論	2前		2		1						
	構造工学特論	1前		2		1						
	材料力学特論	1後		2		1						
	構造力学特論	1後		2			1					
	コンクリート工学特論	1後		2		1						
	建築構造特論	1後		2		1						課程見直しのため、科目を追加(21)
	建築計画特論	1後		2			1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	建築設計特論	2前		2		1	1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	景観デザインの歴史的展開と展望(奇)	1・2前		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	地盤シミュレーション工学(偶)	1・2前		2								
	建設社会工学講究	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	建設社会工学特別実験	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	建設社会工学講究B	1-2		1		9	8					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	建設社会工学特別実験B	1-2		1		9	8					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
学外実習	1-2		最大2		9	8						
学外演習	1-2		最大2		9	8						
社会人プログラム科目	プレゼンテーション	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1-2		2		9	8	7	4			異動のため、平成20年度より教員変更(21)
実践科目	MOT特論	1・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	知的財産論	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
英語M	1・2前			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	

外国語科目	英語M	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	26	0	26	0	45	6	51	
				[ 0 ]	[ 19 ]	[ 6 ]	[ 25 ]	



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0}}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は, 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 建設社会工学専攻 後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	国土デザインと景観工学	1・2・3		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	道路交通環境	1・2・3		2		1						
	水工学特論	1・2・3		2			1					
	地盤工学特論	1・2・3		2		1	1					課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21)
	地盤工学特論	1・2・3		2		1						
	構造解析学特論	1・2・3		2		1						
	建設材料施工学特論	1・2・3		2			1					
建築学特論	1・2・3		2		1	1					課程見直しのため、科目を追加(21)	
専門科目	社会システム特論	1・2・3		2								
	バリアフリー-交通論	1・2・3		2			1	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	環境保全と生態工学	1・2・3		2			1					
	河川工学特論	1・2・3		2		1						
	数値水理学	1・2・3		2			1					
	地盤工学特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	地盤防災工学特論	1・2・3		2		1						
	構造工学特論	1・2・3		2		1						
	材料力学特論	1・2・3		2		1						
	構造力学特論	1・2・3		2			1					
	コンクリート工学特論	1・2・3		2		1						
	建築構造特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、科目を追加(21)
	建築計画特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	建築設計特論	1・2・3		2		1	1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	景観デザインの歴史的展開と展望(奇)	1・2・3		2		1	4					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	地盤シミュレーション工学(偶)	1・2・3		2								
	建設社会工学プロジェクト研究	1~3	2			9 7	8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
学外研修	1~3		1		9 7	8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
特別演習	1~3		1		9 7	8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
グ 社 ラ ム 人 目 目	特別応用研究	1~3		2		9 7	8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1~3		2		9 7	8 7	4				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
実 践 科 目	MOT特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	知的財産論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
批判的テキスト理解	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
外 国 語 科 目	英語M	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3			1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

日本語	1・2・3			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
日本語	1・2・3			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 26	科目 0	科目 27	科目 1	科目 39	科目 8	科目 48	
				[ 0 ]	[ 13 ]	[ 8 ]	[ 21 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	プレゼンテーション	2	1~2	専門	選択	前期課程対象科目に移行したため
2	特別応用研究	2	1~2	専門	選択	
3	特別応用研究	2	1~2	専門	選択	
4	特別応用研究	2	1~2	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.14}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 電気電子工学専攻 前期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	半導体デバイス基礎特論	2前 1→2		2		1						
	電力工学基礎特論	1前 1→2		2		1						
	プラズマ工学特論	1→2		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	集積回路プロセス特論	1→2		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	環境電磁工学概論	1→2		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	物性基礎特論	1→2		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	電子機器設計特論	1→2		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	ネットワーク工学特論	1→2		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	センシング基礎特論	1前 2		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	システム基礎特論	1後 2		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	電力機器基礎特論	1後 1→2		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	量子物性基礎特論	2後 1→2		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	計画数学特論	2前 1→2		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	計算数学特論	1後 1→2		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端通信・ネットワーク特論(偶) 先端通信特論	1・2後		2		5	3	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 課程見直しのため、名称変更(21)
	先端エレクトロニクス特論(奇)	1・2後 1→2		2		5	3	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端半導体デバイスプロセス特論(偶)	1・2後 1→2		2		4	3					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端電気エネルギー特論(奇)	1・2後 1→2		2		4	3					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	電気物性特論	1前 1→2		2		1						
	電力機器基礎特論	1→2		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
光波伝送基礎特論	1後 1→2		2		1							
コピキタス無線特論	1前 1→2		2			1						
電子回路設計特論	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
信号解析特論	1後 1→2		2		1							
薄膜デバイス特論	1後 1→2		2			1						
光エレクトロニクス特論	1後 1→2		2		1							
生体情報特論	2前 1→2		2									
超伝導工学特論	1前 1→2		2		1							
量子力学特論	1前 1→2		2									
電子物性基礎特論	2前 1→2		2		1							
量子物性基礎特論	1→2		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
超格子デバイス特論	1前 1→2		2			1						
半導体デバイス工学特論	1後		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
集積回路プロセス特論	1後 1→2		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
プラズマ工学特論	1前 1→2		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
電力系統制御工学特論	1後 1→2		2			1						

専門科目	電気材料特論	2前 1→2	2		1							
	エネルギー工学特論	1後 1→2	2									
	高機能電力システム特論	1後 1→2	2									
	電力制御特論	1後 1→2	2		1							
	環境電磁工学概論	1前 1→2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	ネットワーク工学特論	1後 1→2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	電子機器設計特論	1前 1→2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	物性基礎特論	1後 1→2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	コンピューティング技法特論	1後 1→2	2		1							
	言語学特論	2後 1→2	2									
	計画数学特論	1→2	2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	計算数学特論	1→2	2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	解析学特論	2前 1→2	2									
	非線形解析学特論	1前 1→2	2									
	インターネット工学特論	1前 1→2	2		1							
	ナノフォトニクス特論	1後 1→2	2									
	半導体薄膜電子デバイス特論	1前 1→2	2									
	先端エレクトロニクス特論(奇)	1→2	2		4	2						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端半導体デバイスプロセス特論(偶)	1→2	2		3	3						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端電気エネルギー特論(奇)	1→2	2		4	3						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	電気電子工学講究 電気工学講究	1 1→2	2		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21) 異動のため、教員変更(21)
	電気電子工学特別講究 電気工学特別講究	2 1→2	2		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21) 異動のため、教員変更(21)
	電気電子工学特別基礎実験 電気工学特別基礎実験	1 1→2	2		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21) 異動のため、教員変更(21)
	電気電子工学特別実験 電気工学特別実験	2 1→2	2		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より名称変更(21) 異動のため、教員変更(21)
	電気電子工学講究 B	1→2	1		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、教員変更(21)
	電気電子工学特別実験 B	1→2	1		15 47	10 42						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、教員変更(21)
学外実習	1→2	最大2		15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
学外演習	1→2	最大2		15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
社会人プログラム	プレゼンテーション	1→2	2	15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
	特別応用研究	1→2	2	15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
	特別応用研究	1→2	2	15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
	特別応用研究	1→2	2	15 47	10 42						異動のため、平成20年度より教員変更(21)	
実践科目	MOT特論	1→2後	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	知的財産論	1→2前	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	ビジネスプラン1	1→2前	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	ビジネスプラン2	1→2後	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	オブジェクト指向プログラミング	1→2前	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	現代数学特論	1→2前	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	現代物理学基礎特論	1→2前	2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	

	総合技術英語	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外国語科目	英語M	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	54	0	54	0	67	6	73	
				[ 0 ]	[ 13 ]	[ 6 ]	[ 19 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	知的センシング特論	2	1・2	一般	選択	各科目の教育内容を見直し、「センシング基礎特論」「システム基礎特論」に再編した。
2	システム工学基礎特論	2	1・2	一般	選択	
3	センシングシステム特論	2	1・2	専門	選択	
4	光・信号処理工学特論	2	1・2	専門	選択	教育課程を見直し、2科目を廃止し、2科目新設した。
5	デジタル機器工学特論	2	1・2	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.09}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



## 2 授業科目の概要

<工学府 電気電子工学専攻 後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	半導体デバイス基礎特論	1・2・3		2		1							
	電力工学基礎特論	1・2・3		2		1							
	プラズマ工学特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	集積回路プロセス特論	1・2・3		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	環境電磁工学概論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	物性基礎特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	電子機器設計特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	ネットワーク工学特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	センシング基礎特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	システム基礎特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
	電力機器基礎特論	1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	量子物性基礎特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	計画数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	計算数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	先端通信・ネットワーク特論(偶) 先端通信特論	1・2・3		2		5	3	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 課程見直しのため、名称変更(21)	
	先端エレクトロニクス特論(奇)	1・2・3		2		5	3	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	先端半導体デバイスプロセス特論(偶)	1・2・3		2		4	3					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	先端電気エネルギー特論(奇)	1・2・3		2		4	3					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	専門科目	電気物性特論	1・2・3		2		1						
		電力機器基礎特論	1・2・3		2		4						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
光波伝送基礎特論		1・2・3		2		1							
ユビキタス無線特論		1・2・3		2			1						
電子回路設計特論		1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
信号解析特論		1・2・3		2		1							
薄膜デバイス特論		1・2・3		2			1						
光エレクトロニクス特論		1・2・3		2		1							
生体情報特論		1・2・3		2									
超伝導工学特論		1・2・3		2		1							
量子力学特論		1・2・3		2									
電子物性基礎特論		1・2・3		2		1							
量子物性基礎特論		1・2・3		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
超格子デバイス特論		1・2・3		2			1						
半導体デバイス工学特論		1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
集積回路プロセス特論		1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
プラズマ工学特論		1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
電力系統制御工学特論		1・2・3		2			1						
電気材料特論		1・2・3		2			1						
エネルギー工学特論		1・2・3		2									
高機能電力システム特論		1・2・3		2									
電力制御特論		1・2・3		2			1						
環境電磁工学概論		1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
ネットワーク工学特論		1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
電子機器設計特論		1・2・3		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
物性基礎特論		1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
コンピューティング技法特論		1・2・3		2			1						
言語学特論	1・2・3		2										
計画数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)		
計算数学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)		
解析学特論	1・2・3		2										



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	知的センシング特論	2	1・2・3	一般	選択	各科目の教育内容を見直し、「センシング基礎特論」「システム基礎特論」に再編した。
2	システム工学基礎特論	2	1・2・3	一般	選択	
3	センシングシステム特論	2	1・2・3	選択	選択	
4	光・信号処理工学特論	2	1・2・3	選択	選択	教育課程を見直し、2科目を廃止し、2科目新設した。
5	デジタル機器工学特論	2	1・2・3	選択	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.1}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 物質工学専攻 前期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	有機化学概論	1前		2		1						
	化学工学概論	1前		2		1	1					
	無機化学概論	1前		2		4	1					異動のため、教員変更(21)
	物理化学概論	1前		2		1						
	材料相変態特論	1前	2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)
	材料反応速度特論	1後	2	2			1					課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)
	成形用マテリアル特論	1後	2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)
専門科目	精密有機合成化学特論(偶)	1・2前		2			1					
	有機合成化学特論(奇)	1・2後		2			1					
	有機金属化学特論(偶)	1・2後		2			1					
	錯体化学特論(奇)	1・2前		2			1					
	構造有機化学特論(偶)	1・2後		2		1						
	機能有機化学特論(偶)	1・2後		2			1					
	物理有機化学特論(奇)	1・2後		2			1					
	工業有機材料特論(偶)	1・2前		2		1						
	高分子化学特論(奇)	1・2前		2		1						
	環境・資源リサイクル論(奇)	1・2後		2		1						
	有機光化学特論	1・2後		2			1					課程見直しのため、名称変更(21)
	生体高分子科学特論	1・2後		2								
	量子物理化学特論	1後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	応用郡論特論	1後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	高温界面科学特論	1後		2			1					
	工業反応装置特論	2後 4→2		2			1					
	移動現象特論(偶)	1・2前		2		1						
	粉体の科学と工学(奇)	1・2前		2		2						
	光触媒機能工学特論	2後 4→2		2		1						
	有機無機複合材料特論(奇)	1・2前		2			1					
	ナノ材料化学特論(偶)	1・2前		2			1					
	機能性無機材料特論	1後 4→2		2		1						
	精密無機材料合成特論	2前 4→2		2			1					
	電気化学特論(奇)	1前		2		1						課程見直しのため、科目を追加(21)
	機能性化合物特論	1前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	分析化学特論	1後 4→2		2		1						
	センサ化学特論	1後 4→2		2		1						
	応用化学特論	1後		2		8 7	7 8					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	応用化学特論	2前		2		8 7	7 8					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	応用化学特論	2後 4→2		2		8 7	7 8					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	材料プロセス工学特論	1後		2			1					
量子材料設計学特論	1前		2		1							
溶接強度学特論	1前		2		1							
異種材料界面の力学特性評価特論	2前		2			1						
エネルギー変換材料学特論	1後		2		1							
マテリアル複合工学特論	1前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
材料科学特論(奇)	1・2前 4		2		5	5					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
計算材料学特論(偶)	1・2前		2		5	5					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	

	先進セラミックス特論	1後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	金属間化合物特論	1前		2		1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	物質工学講究	1~2		2		13 42	12 43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	物質工学特別実験	1~2		2		13 42	12 43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	物質工学講究B	1~2		1		13	12				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	物質工学特別実験B	1~2		1		13	12				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	学外実習	1・2		2		13 42	12 43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	学外演習	1・2		2		13 42	12 43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
専門 共通 科目	応用化学特論ー	4後		2		7	8				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	応用化学特論ー	2前		2		7	8				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	応用化学特論ー	4+2		2		7	8				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	物質工学講究	4+2		2		42	43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	物質工学特別実験	4+2		2		42	43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	学外実習	4+2		2		42	43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	学外演習	4+2		2		42	43				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
社会 人 プロ グラ ム	プレゼンテーション	1・2		2		13 7	12 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 7	12 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 7	12 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別応用研究	1・2		2		13 7	12 8				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	材料科学特論(奇)	4		2		5	5				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
実 践 科 目	MOT特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	知的財産論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	外 国 語 科 目	英語M	1・2前		1						
英語M		1・2後		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
独語		1・2前		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
独語		1・2後		1							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

日本語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
日本語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 47	科目 0	科目 50	科目 0	科目 68	科目 6	科目 74	
				[ 3 ]	[ 21 ]	[ 6 ]	[ 24 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	界面工学特論	2	1・2	専門	選択	教育課程を見直し、3科目を廃止し、28科目新設した。
2	生体金属材料特論	2	1	専門	選択	
3	計算材料学特論	2	1	専門	選択	
4	修了プロジェクト研究	2	1・2	専門	選択	後期課程対象科目に移行したため

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.08}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 物質工学専攻 後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	有機化学概論	1・2・3		2		1						
	化学工学概論	1・2・3		2		1	1					
	無機化学概論	1・2・3		2		4	1					異動のため、教員変更(21)
	物理化学概論	1・2・3		2		1						
	材料相変態特論	1・2・3	2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)
	材料反応速度特論	1・2・3	2	2			1					課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)
成形用マテリアル特論	1・2・3	2	2		1						課程見直しのため、平成20年度より単位区分を変更(21)	
専門科目	精密有機合成化学特論(偶)	1・2・3		2			1					
	有機合成化学特論(奇)	1・2・3		2			1					
	有機金属化学特論(偶)	1・2・3		2			1					
	錯体化学特論(奇)	1・2・3		2			1					
	構造有機化学特論(偶)	1・2・3		2		1						
	機能有機化学特論(偶)	1・2・3		2			1					
	物理有機化学特論(奇)	1・2・3		2			1					
	工業有機材料特論(偶)	1・2・3		2		1						
	高分子化学特論(奇)	1・2・3		2		1						
	環境・資源リサイクル論(奇)	1・2・3		2		1						
	有機光化学特論	1・2後		2			1					課程見直しのため、名称を変更(21)
	生体高分子科学特論	1・2後		2			1					課程見直しのため、名称を変更(21)
	量子物理化学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	応用郡論特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	高温界面科学特論	1・2・3		2			1					
	工業反応装置特論	1・2・3		2			1					
	移動現象特論(偶)	1・2・3		2		1						
	粉体の科学と工学(奇)	1・2・3		2		2						
	光触媒機能工学特論	1・2・3		2		1						
	有機無機複合材料特論(奇)	1・2・3		2			1					
	ナノ材料化学特論(偶)	1・2・3		2			1					
	機能性無機材料特論	1・2・3		2		1						
	精密無機材料合成特論	1・2・3		2			1					
	電気化学特論(奇)	1・2・3		2		1						課程見直しのため、科目を追加(21)
	機能性化合物特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	分析化学特論	1・2・3		2		1						
	センサ化学特論	1・2・3		2		1						
	応用化学特論	1・2・3		2		8	7					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	応用化学特論	1・2・3		2		8	7					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	応用化学特論	1・2・3		2		8	7					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	材料プロセス工学特論	1・2・3		2			1					
	量子材料設計学特論	1・2・3		2		1						
溶接強度学特論	1・2・3		2		1							
異種材料界面の力学特性評価特論	1・2・3		2			1						
エネルギー変換材料学特論	1・2・3		2		1							
マテリアル複合工学特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
材料科学特論(奇)	1・2・3		2		5	5					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
計算材料学特論(偶)	1・2・3		2		5	5					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
先進セラミックス特論	1・2・3		2								課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
金属間化合物特論	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	
物質工学プロジェクト研究	1~3	2			12						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
学外研修	1・2・3		1		12						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
特別演習	1・2・3		1		12						課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
専門共通科目	物質工学プロジェクト研究	1~3	2			42					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	学外研修	1~2・3		4		42					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
	特別演習	1~2・3		4		42					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)	
フロン	特別応用研究IV	1・2・3		2		12	13					
	特別応用研究V	1・2・3		2		12	13					
	MOT特論	1・2・3		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)	



実践科目	知的財産論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン1	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2・3		2						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外国語科目	英語M	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語D	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2・3		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 37	科目 0	科目 41	科目 1	科目 62	科目 8	科目 71	
				[ 3 ]	[ 25 ]	[ 8 ]	[ 30 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	界面工学特論	2	1・2・3	専門	選択	教育課程を見直し、2科目を廃止し、3科目新設した。
2	生体金属材料特論	2	1・2・3	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.05}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 先端機能システム工学専攻 前期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	実践コミュニケーション英語	1後	2									
	経営管理論	1後		2		1						異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	ベンチャー企業論	1前		2			1					
	MOET特論	1+2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	工学倫理論	1後		2		1						異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	知的財産論	1+2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	コラボレーションワーク	1前	2			11	15					
	基礎工学(基礎力学)	1後		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	基礎工学(電磁気学)	1後		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	基礎工学(LSI技術入門)	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	計画数学特論	1前		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1前		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端物質科学	1後		2		2	4	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
専門科目	計画数学特論	1前		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	非線形解析学特論	1前		2			1					
	計算数学特論	1後		2		1						
	応用群論特論	1後		2		1						
	解析学特論	2前		2		1						
	オブジェクト指向プログラミング	1前		2			4					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	確率論特論	1後		2			1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	関数方程式特論	1後		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	インタラクティブシステム特論	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代量子物理学	1前		2		2	4	1				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	先端物質科学	1後		2		4	2					課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	半導体薄膜電子デバイス特論	1前		2			1					
	物性基礎特論	1後		2			1					
	量子物理化学特論	1後		2		1						
	超伝導工学特論	2前		2		1						
	量子物性特論	2後		2			1					
	量子力学特論	1前		2		1						
	ナノフォトニクス特論	1後 2		2		1						
	デジタル信号処理特論 デジタル信号処理	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	パワーエレクトロニクス応用特論 パワーエレクトロニクス応用	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	磁気工学特論(奇)	2後		2			1					課程見直しのため、科目を追加(21)
	エネルギー変換材料工学特論(偶) エネルギー変換材料工学	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	電気化学特論	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端光半導体特論	1前		2			1					
	メカトロニクス工学特論 メカトロニクス工学	1前		2		1						課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	先端機能性材料特論	1後		2			1					
	ナノ材料およびデバイス特論	1前		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ロボット工学特論 ロボット工学	1後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	MEMS工学特論 MEMS工学	1後		2		1	4					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
自動車工学特論 自動車工学	1後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)	
メソスコピック系物理学特論 メソスコピック系物理学	1後		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)	

	先端機能システム工学特論 先端機能システム工学I	1・2前 2		2															課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	先端機能システム工学特論 先端機能システム工学II	1・2後 2		2															課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	マテリアル・ナノテクノロジー	1後		2			2												課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端半導体とそのデバイスへの応用	1前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端機能システム工学講究	1~2		2		11 43	15 44												異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	先端機能システム工学特別実験	1~2		2		11 43	15 44												異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	先端機能システム工学講究B	1~2		1		11 43	15 44												課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	先端機能システム工学特別実験B	1~2		1		11 43	15 44												課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	学外実習	1~2		最大2		11	15												
	学外演習	1~2		最大2		11	15												
社会人プログラム	プレゼンテーション	1~2		2		11 43	15 44												
	特別応用研究	1~2		2		11 43	15 44												
	特別応用研究	1~2		2		11 43	15 44												
	特別応用研究	1~2		2		11 43	15 44												
実践科目	MOT特論	1・2後		2															課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	知的財産論	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	ビジネスプラン1	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2後		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2後		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2															課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外国語科目	英語M	1・2前			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2後			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2前			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2後			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2前			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2後			1														課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 44	科目 0	科目 46	科目 2	科目 62	科目 6	科目 70	
				[ 0 ]	[ 18 ]	[ 6 ]	[ 24 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	応用プログラム設計論	2	1	専門	選択	教育課程を見直し、4科目を廃止し、28科目新設した。
2	流体数理科学特論	2	2	専門	選択	
3	半導体パワーデバイス	2	1	専門	選択	
4	先端機能システム工学	2	2	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.08}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学府 先端機能システム工学専攻 後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	実践コミュニケーション英語	1・2・3 4	2									
	経営管理論	1・2・3 4		2			1 2					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	ベンチャー企業論	1・2・3 4		2			1					
	MOET特論	4・2後		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	工学倫理論	1・2・3 4		2			1					異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	知的財産論	4・2前		2								課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	コラボレーションワーク	1・2・3 4	2				11	15				
	基礎工学(基礎力学)	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	基礎工学(電磁気学)	1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	基礎工学(LSI技術入門)	1・2・3		2				1				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	計画数学特論	1・2・3 4		2				1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2・3 4		2				1				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	先端物質科学	1・2・3 4		2			2 4	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	専門科目	計画数学特論	4		2			4				
非線形解析学特論		1・2・3 4		2				1				
計算数学特論		1・2・3 4		2			1					
応用群論特論		1・2・3 4		2			1					
解析学特論		1・2・3 2		2			1					
オブジェクト指向プログラミング		4		2				4				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
確率論特論		1・2・3		2				1				課程見直しのため、科目を追加(21)
関数方程式特論		1・2・3		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
インタラクティブシステム特論		1・2・3		2				1				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
現代量子物理学		1・2・3 4		2			2 4	1				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
先端物質科学		4		2			4	2				課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
半導体薄膜電子デバイス特論		1・2・3 2		2				1				
物性基礎特論		1・2・3 4		2				1				
量子物理化学特論		1・2・3 4		2			1					
超伝導工学特論		1・2・3 2		2			1					
量子物性特論		1・2・3 2		2				1				
量子力学特論		1・2・3 4		2			1					
ナノフォトニクス特論		1・2・3 2		2			1					
デジタル信号処理特論 デジタル信号処理		1・2・3 4		2				1				課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
パワーエレクトロニクス応用特論 パワーエレクトロニクス応用		1・2・3 4		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
磁気工学特論(奇)	1・2・3		2				1				課程見直しのため、科目を追加(21)	
エネルギー変換材料工学特論(偶) エネルギー変換材料工学	1・2・3 4		2			1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)	

	電気化学特論	1・2・3		2		1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端光半導体特論	1・2・3 4		2		1					
	メカトロニクス工学特論 メカトロニクス工学	1・2・3 4		2		1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	先端機能性材料特論	1・2・3 4		2		1					
	ナノ材料およびデバイス特論	1・2・3		2		1					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ロボット工学特論 ロボット工学	1・2・3 4		2							課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	MEMS工学特論 MEMS工学	1・2・3 4		2		1	4				課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21) 異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	自動車工学特論 自動車工学	1・2・3 4		2							課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	メソスコピック系物理学特論 メソスコピック系物理学	1・2・3 4		2		1					課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	先端機能システム工学特論 先端機能システム工学I	1・2・3 2		2							課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	先端機能システム工学特論 先端機能システム工学II	1・2・3 2		2							課程見直しのため、平成20年度より科目名を変更(21)
	マテリアル・ナノテクノロジー	1・2・3		2		2					課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	先端半導体とそのデバイスシステムへの応用	1・2・3		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	特別プロジェクト研究	1～3		2		11 43	15 44				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	インターンシップ	1～3		1		11 43	15 44				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
	特別演習	1～3		1		11 43	15 44				異動のため、平成20年度より教員変更(21)
ラ ブ ソ シ エ ト 人	特別応用研究	1・2・3		2		11 43	15 44				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	特別応用研究	1・2・3		2		11 43	15 44				課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
実 践 科 目	MOT特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	知的財産論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目区分を変更(21)
	ビジネスプラン1	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	ビジネスプラン2	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代数学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	現代物理学基礎特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	総合技術英語	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	経済学特論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	国際関係概論	1・2前		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	近代ヨーロッパ産業文化特論	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	批判的テキスト理解	1・2後		2							課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
外 国 語 科 目	英語M	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	英語M	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	独語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2前			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)
	日本語	1・2後			1						課程見直しのため、平成20年度より科目を追加(21)

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 45	科目 0	科目 47	科目 2	科目 57	科目 6	科目 65	
				[ 0 ]	[ 12 ]	[ 6 ]	[ 18 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	応用プログラム設計論	2	1	専門	選択	教育課程を見直し、4科目を廃止し、28科目新設した。
2	流体数理科学特論	2	2	専門	選択	
3	半導体パワーデバイス	2	1	専門	選択	
4	先端機能システム工学II	2	2	専門	選択	
5	学外実習	2	1~3	専門	選択	前期課程対象科目に移行したため
6	学外演習	2	1~3	専門	選択	
7	プレゼンテーション	2	1~3	専門	選択	
8	特別応用研究	2	1~3	専門	選択	
9	特別応用研究	2	1~3	専門	選択	
10	特別応用研究	2	1~3	専門	選択	

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育課程の見直しにより、授業科目の新設及び廃止を行った。  
 学生への周知方法は、学生便覧及びホームページで告知するほか、別途掲示も行っている。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.21}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)  
 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
工学部										
機械知能工学科	4	140		560	学士(工学)	1.04	平成9年度	福岡県北九州市 戸畑区仙水町 1-1	平成20年度より入学定員変更	
建設社会工学科	4	80		320	学士(工学)	1.04	平成9年度		平成20年度より入学定員変更	
電気電子工学科	4	130	3年次 学科共 通 20	520	学士(工学)	1.04	平成20年度			
応用化学科	4	70		280	学士(工学)	1.12	平成20年度			
マテリアル工学科	4	60		240	学士(工学)	1.08	平成20年度			
総合システム工学科	4	51		204	学士(工学)	1.07	平成20年度			
電気工学科	4	—		—	学士(工学)		昭和63年度			平成20年度より学生募集停止
物質工学科	4	—		—	学士(工学)		昭和63年度			平成20年度より学生募集停止
情報工学部										
知能情報工学科	4	88	3年次10	372	学士(情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市 川津640-1		
電子情報工学科	4	88	3年次10	372	学士(情報工学)	1.06	昭和62年度			
システム創成情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.08	平成16年度			
機械情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.03	平成16年度			
生命情報工学科	4	78	3年次10	332	学士(情報工学)	1.06	平成16年度			
機械システム工学科	4	—		—	学士(情報工学)		昭和63年度			平成16年度より学生募集停止
生物化学システム工学科	4	—		—	学士(情報工学)		平成1年度			平成16年度より学生募集停止

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<工学府 機械知能工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
23	0	23	0	24	1	25	0	
( 24 )	( 1 )	( 25 )	( 0 )	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 機械知能工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
11	12	23	0	17	8	25	0	
( 17 )	( 8 )	( 25 )	( 0 )	[ 6 ]	[ 4 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

< 工学府 建設社会工学専攻 ( 博士前期課程 ) >

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
15	0	15	0	17	1	18	0	
( 15 )	( 1 )	( 16 )	( 0 )	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成 21 年 5 月 1 日現在 ( 就任年月に達していない者を含む ) の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
( 記入例：1 名減の場合： 1 )

#### 4 教員組織の状況

<工学府 建設社会工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8	7	15	0	12	6	18	0	
( 11 )	( 5 )	( 16 )	( 0 )	[ 4 ]	[ 1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 電気電子工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
28	1	29	0	25	1	26	0	後任者公募中
( 26 )	( 1 )	( 27 )	( 0 )	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 電気電子工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
17	12	29	0	17	9	26	0	後任者公募中
( 17 )	( 10 )	( 27 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 物質工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
25	0	25	0	25	0	25	0	
( 26 )	( 0 )	( 26 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）



#### 4 教員組織の状況

<工学府 物質工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12	13	25	0	15	10	25	0	
( 15 )	( 11 )	( 26 )	( 0 )	[ 3 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 先端機能システム工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	3	27	0	24	0	24	0	後任者公募中
( 27 )	( 0 )	( 27 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

#### 4 教員組織の状況

<工学府 先端機能システム工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
14	13	27	0	15	9	24	0	後任者公募中
( 16 )	( 11 )	( 27 )	( 0 )	[ 1 ]	[ 4 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合： 1）

## 5 その他全般的事項

<大学院 工学府>

### 情報提供に関する事項

#### 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 6月 19日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://jimu-www.jimu.kyutech.ac.jp/soumu/setti/setti-top.htm> )

#### 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://jimu-www.jimu.kyutech.ac.jp/soumu/setti/setti-top.htm> )

(注)「情報提供に関する事項」の「 」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「 」又は「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「 」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス：[d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学) 」としてください。